

ならし社協だより

平成から令和へ、
新しい時代のスタートです！

第 **41** 号

JULY 2019

令和元年7月1日発行



視覚障がい者サロンでの奈良市アイサポートの会の皆さんによる
ボランティア風景(総合福祉センター)

目次 (ページ)

- 02 令和元年度事業計画と予算
- 04 あなたのまちの地域福祉活動「飛鳥地区社会福祉協議会」
- 05 平成の災害支援から学んだこと
プラットフォーム会議開催中
- 06 北部総合相談支援ネットワークが始動しました！
- 07 ボランティア活動を始めてみませんか！
こんにちは！共同募金です！
- 08 福祉の豆知識～聴覚過敏保護用シンボルマーク～
令和元年度賛助会員のご紹介

社協会員募集中！

①個人会員	年間 1 □	1,000 円
②施設・団体会員	年間 1 □	5,000 円
③賛助会員(企業等)	年間 1 □	10,000 円

問い合わせ先 総務課 0742-93-3100

令和元年度 事業計画と予算

基本方針

1. 第2次地域福祉活動計画の推進

第2次地域福祉活動計画に掲げる「ひとりぼっち“0”プロジェクト」をスローガンとして、地域住民や関係機関と協働・連携し、助け合いや支え合いの『つながり』づくりを進め、『情報』が届かないことによる孤立を防ぎ、住民だれもが『安心』に暮らせる福祉のまちづくりを推進します。

2. 経営改善に向けての取り組みの促進

近年における非常に厳しい本会の経営状況を踏まえ、従来の取り組みを踏襲するのではなく、一から見直しを進めるとともに、より結果を重視し、積極的に迅速な経営改善を行いながら、持続可能で安定した法人運営を行います。

6つの重点項目

1 地域福祉への関心と理解を広げる 取り組みを通じた担い手づくり

地域みまもりサポート制度の一環として、ゆるやかな見守り活動の啓発を推進します。また、多様な機関との福祉教育推進ネットワークの構築や福祉教育プログラムの検討等、福祉教育の推進に努めることで、地域福祉への関心と理解の促進をめざします。

2 地域福祉の活動支援

令和2年度中の全地区策定をめざしている地区別福祉活動計画は、多様な主体と共に各地区におけるまちづくりを考えていくものであり、地域共生社会の実現に向けての重要な取り組みと位置づけ、地区への積極的な働きかけを行っていきます。

3 困りごとを受け止める 体制づくり

災害支援ネットワークづくりに関しては、昨年度より多様な機関とのプラットフォーム会議を開催しており、それを継続しつつ、センターの立ち上げ訓練やコーディネーターの要請を行うことで、災害支援体制の整備を行います。また、各センターにおける相談支援機能強化や、包括的相談支援ネットワークの構築を進め、困りごとを受け止める体制づくりを進めます。

4 課題を深刻化させない 地域づくり

地域みまもりサポート制度では、みまもり支援員の養成や気になる会議を実施することで、課題を深刻化させない地域づくりを進めます。権利擁護支援の充実に関しては、新たに任意後見制度への対応を検討するとともに、適切な成年後見制度への移行を進めます。

5 地域生活を実現するための 資源やサービス・活動の展開

生きづらさを抱える方々が地域において出番と役割を持ち「社会とつながる」「相談につながる」ことをコンセプトにした「いいばしょプロジェクト」の推進を行います。生活支援コーディネーターの配置を2拠点化しエリア支援の充実を図り、多様な主体が協力した地域課題の解決へ向けた取り組みを進めます。

6 実施計画推進のための 基盤づくり

本会の経営状況が厳しい中、評価・配置・育成・処遇を一体的に行い、社会的価値の向上をめざした人事管理制度の充実を図ります。また、第2次地域福祉活動計画については適切な進捗を図るため、量的・質的な成果を踏まえた評価を検討し、第3次地域福祉活動計画の策定に向けた調整を進めます。

令和元年度 奈良市社会福祉協議会予算概要

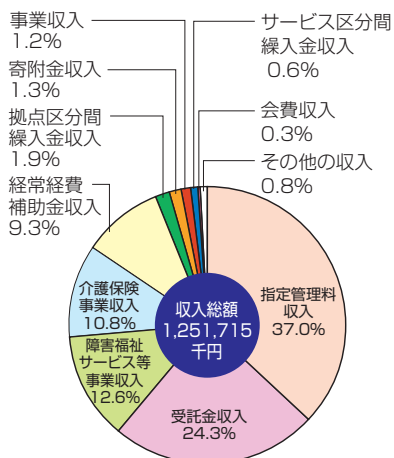
予算額合計

(単位：千円)

予算書の項目	金額	予算書の項目	金額
収入		支出	
事業活動収入計	1,218,631	事業活動支出計	1,226,595
施設整備等収入計	0	施設整備等支出計	0
その他収入計	33,084	その他支出計	41,827
小計	1,251,715	小計	1,268,422
前期末支払資金残高	207,703	予備費	4,775
		当期末支払資金残高	186,221
合計	1,459,418	合計	1,459,418

収入科目の構成割合

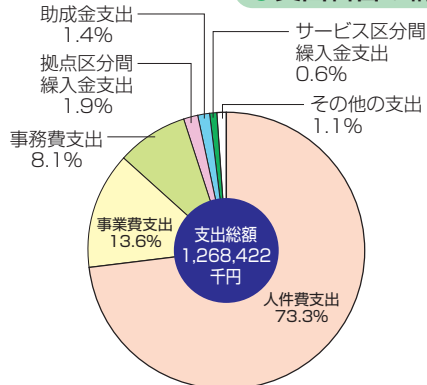
(単位：千円)



科目	令和元年度	構成割合
指定管理料収入	462,800	37.0%
受託金収入	303,645	24.3%
障害福祉サービス等事業収入	157,305	12.6%
介護保険事業収入	135,181	10.8%
経常経費補助金収入	116,096	9.3%
拠点区分間繰入金収入	23,799	1.9%
寄附金収入	16,222	1.3%
事業収入	15,087	1.2%
サービス区分間繰入金収入	7,875	0.6%
会費収入	3,320	0.3%
その他の収入	10,385	0.8%
収入合計	1,251,715	

支出科目の構成割合

(単位：千円)



科目	令和元年度	構成割合
人件費支出	929,927	73.3%
事業費支出	172,490	13.6%
事務費支出	103,271	8.1%
拠点区分間繰入金支出	23,799	1.9%
助成金支出	17,693	1.4%
サービス区分間繰入金支出	7,875	0.6%
その他の支出	13,367	1.1%
支出合計	1,268,422	

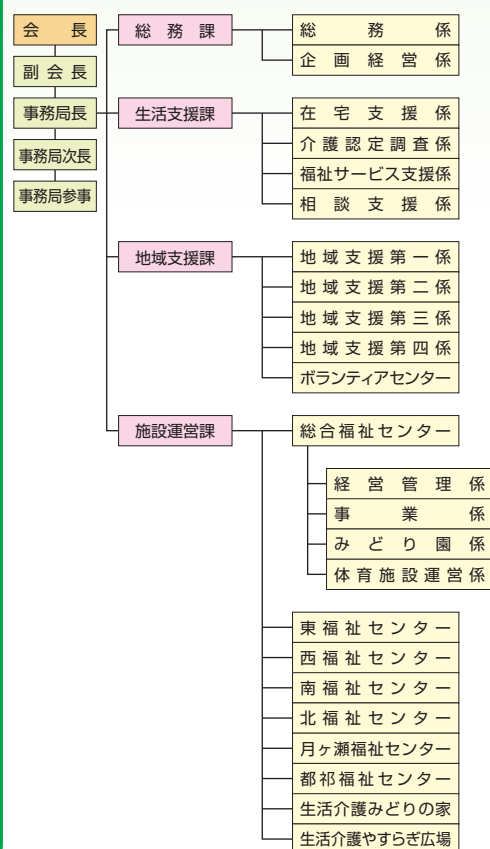
拠点区分別一覧

(単位：千円)

拠点区分名称	令和元年度
法人本部拠点	137,752
在宅支援事業拠点	228,566
福祉サービス支援拠点	55,470
地域福祉推進拠点	207,104
ボランティアセンター拠点	21,269
月ヶ瀬福祉センター拠点	75,498
都祁福祉センター拠点	127,170
生活介護施設拠点	194,983
総合福祉センター拠点	251,894
老人福祉センター拠点	159,712
社会福祉事業区分合計	1,459,418

組織図

理事 17名
監事 2名
評議員 30名
特別顧問 3名



第2次地域福祉活動計画進捗管理委員会開催

活動計画の進捗状況を確認するため、住民・行政・保健・医療・福祉等を代表する方々による、進捗管理委員会が、昨年度開催されました。グループワーク形式で①地域を支える人づくり②課題を深刻化させない連携づくり③くらしを支えあう活動・サービスづくりという基本目標に基づく重点的な取り組みの進捗を確認する中で、『つながり』『安心』『情報』という地域課題における3つのキーワードが示されました。さまざまな『情報』を元に『つながり』をうみだして孤立をなくし、誰もが『安心』して暮らせるまちづくりを進めていくことの重要性が確認され、今後も継続した進捗管理により、福祉のまちづくりを進めます。



あなたのまちの地域福祉活動

飛鳥地区社会福祉協議会

飛鳥地区は市のほぼ中央に位置し、傾斜や入り組んだ道の多い東側と住宅が密集する西側に、90もの自治会がある広い地区です。また、元興寺をはじめとした歴史的建造物や総合病院、教育機関など数多くの地域資源が存在します。

今回は、飛鳥地区各地で活躍中の地域福祉活動団体の応援を進めている飛鳥地区社会福祉協議会（以下、地区社協）の豊田会長と役員の方々にお話を伺いました。



多様な主体がつながる地区社協へ

地区社協は、自治連合会や民生委員・児童委員協議会など飛鳥地区内の各種団体の代表者で理事会を構成しています。高齢者の憩いの場であるサロンや、こども食堂などを運営されているボランティアグループも会員として参加するなど、地区内で福祉を推進する団体同士でのつながりが徐々に広がりつつあります。多様な主体がともに飛鳥地区の活性化を進めることができる地区社協の運営を目指しながら、日々活動されています。



▲高齢者サロンの様子



こども食堂の様子▶

平成 30 年度からの重点項目

- ①「ひと」づくり
地域福祉活動の担い手が活動しやすい仕組みづくり
自分の意思が伝えられる人や日々の些細な変化に気づき行動ができる人の育成
- ②「ネットワーク」づくり
地区で困りごとに気づきあったり、相談を受け止めるワンストップ体制をめざしたネットワークづくり
- ③「場」づくり
誰もが孤立することなく“社会とつながり”“ほっとできる”場所づくり

地区社協のネットワークが…

昨年、飛鳥公民館で約20年間活動を続けてこられた高齢者サロンが、担い手の高齢化に伴い存続の危機に瀕したことがありました。その情報をいち早くキャッチした地区社協は「サロンを楽しみにされている方々にとっての大切な居場所がなくなったら大変だ！」と、存続に向けて地区へ投げかけたところ、担い手が見つかり無事サロンを続けられるようになりました。この事例は、地区社協のもつネットワークを活かした好事例となりました。

次世代につながる地域づくりへ

「飛鳥地区で生まれ育ったこどもが親世代になった時に、我が子をぜひここで育てたいと思うような地区にしたい！」

「身近に通える場所がたくさんあれば、こどもも大人も皆にそれぞれの居場所ができる。ここに住んで良かったと思える地域づくりを進めていきたい！」と役員の皆様が今後の抱負を語られました。

誰もが暮らしやすいまちづくりは、住民一人一人の主体的な関わりが不可欠です。

3つの重点目標を基盤に展開される地区社協の活動にご期待ください！



▲地区社協総会の様子

平成の災害支援から 学んだこと



平成の30年間を振り返ると、数多くの災害が発生しました。平成7年の阪神・淡路大震災は未曾有の災害であったことから、多い時には全国から1日2万人以上の方が駆け付けました。ボランティアやNPO等による被災地での復興支援活動が本格的に行われたこの年は、「ボランティア元年」とよばれるようになりました。

これ以降も多くの災害が発生し、被災地でのボランティア活動の動きは高まり、本会としても平成23年の東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨等における職員の派遣を通して支援活動に取り組んできました。



阪神・淡路大震災

(写真提供：神戸市)

平成30年7月豪雨（西日本豪雨災害）の現場から

この災害では、倉敷市真備町で災害ボランティアセンターの運営支援を行うため、本会からも多くの職員を派遣しました。現地の地域や被災状況に関する詳細な情報が把握できない中での活動では、地元民生委員の存在が大きな助けとなりました。自身も大きな被害に遭われているにも関わらず、被災住民や地域の資源と、支援者とのパイプ役として一緒に活動してくださったことで、支援ニーズとのマッチングが効率的に行えました。被災地支援における地元住民主体の活動や、日常からのつながりの重要性を感じました。



倉敷市での支援活動

以下は当時、民生委員の方からお伺いした被災時の状況です。

「避難指示が出た時にまず、普段から見守り訪問している高齢者が気にかかり豪雨の中車を走らせたのですが、声をかけに行けたのは、10数件中5件ほどでした。自身の安全を確保しながら、避難所の様子を確認するなど、すべて一人で担うことはできませんでした。」

「一人でできることには限界があるということ、自主防災に関する団体を含む、他の組織の動きを把握できていなかったことなど、実際に被災して分かったことがたくさんありました。」

これらの支援活動や体験を通して、普段から関係団体等の活動を把握し、非常時の役割分担を意識しながら平時からつながりをつくっておくことが、いざという時に役立つことを我々も実感しました。

災害時に一人でも多くの命を守り、地域の力を発揮するには、ご近所同士の支え合う力が必要です。日ごろからの関係づくりをすることが、結果としていざという時に対応できる体制をつくることにもつながります。

本会では、住民同士の支え合いにもとづく福祉のまちづくりをこれからも進めていくとともに、災害時対応マニュアルを作成して災害時における本会の役割や行動を明文化し、いざという時に備えた関係機関や団体との協力体制づくりを始めています。

災害ボランティアセンター運営プラットフォーム会議開催中!!

奈良市での災害支援体制の構築に向けて、本年1月、災害ボランティアセンター運営プラットフォームが設置されました。これまで2回の会議を開催し、日頃より防災活動や被災地での活動支援を行っている関係機関・団体が顔を合わせました。会議では、各団体のこれまでの支援活動やそれぞれの強み（「全国ネットワークがある」「動ける人員がいる」など）が報告されるとともに、災害ボランティアセンターにおける実際の動きのイメージ共有が図られました。

災害時にボランティアを受け入れ、支援活動につなぐ災害ボランティアセンターを開設するには、設置拠点や機材・資金の調達等が課題となります。また、その運営において、各種関係機関・団体がいかに連携できるかが被災者に速やかな支援を届ける鍵になります。

今後も、災害ボランティアセンターの設置訓練など、協力体制の整備に向けた取り組みを進めます。

会議の様子



【北部総合相談支援ネットワーク】が始動しました！

奈良市の北部圏域（右京・神功・朱雀・左京・佐保台）では、福祉や医療機関等による「総合相談支援ネットワーク」を立ち上げました。

「総合相談支援ネットワーク」では、見守り合い活動などを行っている住民団体と共に、地域の中にある困りごとを受け止め「孤立する人がいない地域、誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目指します。

ネットワーク参加メンバーの 専門分野をご紹介します

すずらん館まちの情報カウンター 坂本

〈地域情報の紹介〉
「当カウンターでは3市町のボランティア、地域活動の情報、ネットワークの活動状況をお知らせいたします」

(福)サンタ・マリア 小西

〈高齢者、認知症等の支援・フードレスキューの実施〉
「改めて専門職同士も、顔の見える関係作りが大切だと感じました。このメンバーで、地域の困り事を“面”で受け止めていきます」

北部地域包括支援センター 矢野

〈高齢者に関する相談〉
「このネットワークが地域の皆様のご相談や困り事の大きな受け皿になれる様取り組んでいます」

(福)奈良市社会福祉協議会

〈生活費・成年後見・ひきこもり他
の相談（後藤）〉
〈障害者の生活相談（川井）〉
〈高齢者・子育て支援（今中）〉

URコミュニティ 上山

〈住まいの相談〉
「UR団地内のお困り事、ご相談を通じて、地域社会に貢献します」

NPO法人 Msねっと 東

〈子育て・児童発達支援・障害者就労〉
「子育てを親のものだけにせず、地域ぐるみで〈みんな子育てを〉に。ひとり
で悩まないで、一緒に考えましょう」

(福)ぶろぼの 橋本

〈障害者の就労支援〉
「障害者に限らず、地域の“働きたい”気持ちをサポートしていきます。
青年層の就労相談にも応じます」

ならやま診療所 若井

〈地域医療・無料低額診療〉
「医療と介護の相談・安心の在宅療養を支援します。経済的に困っている方の医療費の相談をお受けします」

平城ニュータウンまちかど相談カウンター

北部総合相談支援ネットワークの活動の一つとして、地域の民生委員・児童委員と協力し、気軽に立ち寄っていただける相談窓口を設置しました。日常生活の中での「ちょっと困っていること」「ちょっと気になっていること」を、お気軽にご相談ください。

平城ニュータウンまちかど相談カウンター実施日

●奈良市北福祉センター（奈良市北部会館2階）

毎月第2水曜日 14時～16時

●すずらん館まちの情報カウンター（近商ストア高の原1階）

毎月第4水曜日 14時～16時

問い合わせ先：奈良市社会福祉協議会 地域支援第二係 TEL：0742-93-3741

旗・応援幕・カップ・バッジ
株式会社 **野崎旗店**

TEL.0742-23-1343 FAX.0742-27-3760

E-mail: hata@nozaki.net

HP **野崎旗** で検索！



ATM手数料が無料、ローンも気軽に
相談できる！こんなに寄り添ってくれるのは、
金利を目的にしない金融機関だからかも。
けっこう、いいよね。
だから、私も、ろうきん。

はたらくあなたへ **笑顔** を届けに
近畿ろうきん

近畿ろうきん
0120-191-968

設 青丹学園 **最短期間でチーム医療を支えるプロに！**

関西学研医療福祉学院

介護福祉学科 2年制/40名

作業療法学科 3年制/40名

理学療法学科 3年制/40名

言語聴覚学科 2年制/40名

看護学科 3年制/40名



近鉄「高の原」駅より徒歩 **3分**
奈良市右京1丁目1番5 TEL:0742-72-0600

関西学研 **検索**

相続対策・生前贈与

確定申告・相続税・資金調達・登記
保険代理業務・金利過払いのご相談など

奈良の地で開業80年の実績。皆様のさまざまな疑問・ご要望に
「総合力」で誠実にお応えいたします。

TEL 0742-22-3578 FAX 0742-27-1681



税理士法人 森田会計事務所

安心 安全 信頼
をモットーに

アドバイザーが快適なカーライフをサポート致します。
詳しくはお問い合わせください。

各種保険のご相談・飯金見積り無料！ 近畿運輸局認定・指定工場

株式会社 **奈良中川自動車**

☎ **0742-61-5388**

〒630-8453 奈良県奈良市西九条町3丁目7-2 fax. 0742-61-1020
営業時間 9:30～18:30 定休日 第1・3・5日曜日、祝日
URL <http://www.nara-nakagawa.com/>

福祉車両のレンタカー お気軽にご用命ください

ハイエース 2台
ノア 1台
ワゴンR 1台

代表理事 日本福祉車両未来研究会
Japan welfare vehicle future meeting club
<http://www.29mirai.com/>

ガラクジュム



奈良市北之庄西町1丁目11-3 TEL: 0742-61-5662 (すずき)

「ボランティア活動」を始めてみませんか!

ボランティア活動は、豊かな人生の栄養素です。
活動は、身近なところで、できることから始めることができます。

ボランティア活動って?

- 福祉系…見守り・介助・視覚に障害がある方の手引きや代読・聴覚に障害がある方への支援など
 - 芸術系…楽器演奏・歌・書道・舞踊・日本の話芸（落語・講談）など
 - イベント系…手品・クイズ・スポーツなど
 - その他…災害支援・料理・手芸・囲碁・環境保全・防犯など
- このように、ボランティア活動といっても様々なものがあります。自分の好きなことや特技など、自分にできることから始められる身近な活動です。

活動のポイント

自らの意思で気軽に始めることができるボランティア活動ですが、大切なポイントがあります。

- ①自分が興味や関心がある身近なことから始めよう!
- ②自分の生活に無理のない程度で長く続けよう!
- ③活動中は約束やルールを必ず守ろう!
- ④活動中は相手や関係者の立場を尊重しよう!
- ⑤万が一の事故やケガに備えて保険に加入しよう!

ボランティア活動は
自分の意思でできることから始めた活動が、地域や社会をよりよくしていくことに役立ち、
さらに自分自身も豊かにしてくれる力を持っています。
さあ、あなたもボランティア活動を始めてみませんか!!

ボランティア活動を「する」「しない」に関わらず、一度、気軽にボランティアセンターをのぞいてみて下さい。
ボランティアに関する情報を見ただけのコーナーを設置しています。また、必要に応じて専門のスタッフが皆さんの活動先をコーディネートいたします。

奈良市ボランティアセンター

〒630-8113 奈良市法蓮町1702番地の1
TEL: 0742-26-2270 FAX: 0742-26-2003

※ボランティアセンターについては次号で詳しくお伝えします

こんにちは!
共同募金です!

共同募金運動とは

共同募金運動は、都道府県を単位で行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいたご寄付は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。
共同募金運動の期間は10月1日から翌年3月31日までの6か月間で、全国一斉に行われます。



奈良市共同募金委員会
(奈良市社協総務課内)

TEL: 0742-93-3100

FAX: 0742-61-0330

☎0742-51-8700 奈良西部病院 検索

認知症やパーキンソン病など神経難病や重度心身障害者でお困りの方、ご相談下さい。



救急労災指定

医療法人拓生会 奈良西部病院
奈良市三碓町 2143-1(帝塚山大学 東生駒キャンパス向かい)

住み慣れた地域で 必要な介護サービスが選べる

- 一般型デイサービス
- 認知症対応型デイサービス
- 小規模多機能型サービス
- グループホーム
- 介護相談センター

ご相談 多機能複合型介護施設 ミック登美ヶ丘
見学随時 奈良市押熊町 2261 (ならやま大通り ユニクロ駐車場南)
☎0742-40-2350 mic-tomigaoka.com

お悩みことはないですか?

相続
遺言

遺産
整理

成年
後見

など お気軽にご相談ください。

☎0742-25-2700

初回相談無料
(土日祝OK)
事前予約制

司法書士 前田総合事務所
司法書士 前田 真一

※相談費等は司法書士法第3条に定める範囲に限ります。
事務所: 奈良市三条町4-8-7番地 小山ビルディング2階
(三条通西側) J R奈良駅徒歩5分又は近鉄奈良駅徒歩9分
営業時間: 平日9時~18時

「楽しく味彩」3食セットで

1,020円 (税込)

1食あたり340円



配達料
無料

締切日はご利用週の前週水曜日

YOSH!KE!

☎0120-074262

AIG損保の生活サポート総合補償制度 知的障害児者・自閉症児者専用保険です

- ・病気やケガで入院した際の・・・
- ・付添介護費用・差額ベッド費用・入院諸費用・入院一時金付帯
- ・他人への賠償補償、本人のケガの補償もセットされています



ご問合せ先
ジェイ・シー・ウエスト株式会社
大阪市中央区本町1-1-1 OCT7階
TEL: 0120-177-294

もらい損ねていませんか?

障害年金

- ・国の年金制度です ・原則20~64歳が対象
- ・病気やけがで日常生活が困難な方
精神、各種がん、身体、視覚・腎・肝・肺・心など

気軽にご相談ください 奈良市秋篠三和町1-9-7
090-8481-4867 あらき社労士事務所



このコーナーでは
知っているようで知らない
福祉の豆知識について
紹介します。



詳しくは

聴覚過敏シンボルマークで **検索**



聴覚過敏保護用 シンボルマーク

当マークは（2017年10月現在において）公的に周知あるいは規格化された統一のマークではなく、特定のメッセージと共に表示して「聴覚過敏の保護用」であることを伝えやすく強調し、同時にその意味を広く周知することを目的に設計されたシンボルマークです。

役割について

表示の対象物が聴覚過敏対策の保護具・遮音具などである事や、使用している方が聴覚過敏及びそれに類する「音に対する生理・心理上の苦痛を伴う症状」があることを示します。例えば、ヘッドホンやキーホルダーにシンボルマークを付けて使用されることが多いです。

※聴覚過敏とは

特定の音に過剰に反応したり、多くの人にとって気にならないような音が、耐えられないほど大きく感じ、気分が悪くなり体調を崩すなど日常生活に支障をきたすような症状を言います。

使用条件として、役割に反しない用途であれば、だれでも無償で対象物に表示して自由に利用でき、使用許諾や連絡も不要です。一方、これを別の意味を伝える役割のために掲げ、あるいはシンボルを改ざんして流用するなどの行為は、当マーク本来の機能を損なうものであり、禁止されています。ただし、本来の目的に反しない範囲において、色やサイズ、表示する文言を見やすく適当なものに調整するなどのアレンジは自由です。

令和元年度 賛助会員のご紹介

（4月末日現在、ご加入いただいている方々です）

ご協力ありがとうございます。

【五十音順】

- ・お弁当のしあわせ家
- ・株式会社ネスミス
- ・株式会社ガラージュモリ
- ・共同精版印刷株式会社
- ・グループホームどんぐり
- ・シンレキ工業株式会社関西事業所
- ・セントラルビジネス株式会社
- ・大和証券株式会社
- ・戸尾建築設計事務所
- ・奈良交通株式会社
- ・奈良ヤクルト販売株式会社
- ・株式会社南都銀行
- ・野村證券株式会社奈良支店
- ・ヒューマンヘリテージ株式会社

- ・株式会社堀川工務店
- ・ミック登美ヶ丘
- ・株式会社八州エイジェント
- ・遊食彩KONISHI
- ・株式会社ヨシケイ・ライブラリー
- ・MS奈良株式会社

★第39号穴埋め
キーワードク
イズの答えは
「はつひので」
でした。掲載
が遅くなった
ことをお詫び
いたします。

編集 後記

入社して1年が経とうとしています。今年度社協だよりの編集委員になり、取材や編集を通して地域や社協について新たな発見が多くあります。駆け出し始めの身として、いろいろなことを知る機会をいただいたことをありがたく感じています。

今年も猛暑になるでしょうか？暑さに負けず、仕事も育児も頑張ります！

（編集委員S）

発行：社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会
発行責任者：事務局長 高原 俊裕
〒630-8454 奈良市杏町79番地の4
TEL：0742-93-3100 FAX：0742-61-0330
E-mail：hureai@narashi-shakyo.com
URL：http://www.narashi-shakyo.com

奈良市社協 **検索**



ご高齢の方や、障害をお持ちの方で歩行困難などで治療院に通いづらい方

訪問鍼灸マッサージ ～今をお持ちの健康保険証が使える～ 鍼灸・マッサージ
ゆうとぴあ® ご自宅まで訪問いたします！

利用者さまのお声

脳疾患の後遺症があるのですが、病状もよくわかってくれる先生で、話もよく聞いてもらっています。

ぐっすり眠れるようになりました。

わたしは、
保険負担1割なので
1回390円～440円
程度です。
負担が少なくて、
しかも家まで来てくれて
ありがたいです。

夜中のトイレの
介助がなくなり
負担が減りました。

糖尿病で人工透析を
受けていますが、
訪問マッサージは便利です。
透析のスケジュールに
合わせてもらいながら、
毎週3回お願いしています。



無料お試しマッサージのお申込みは

0120-977-207

訪問時間 朝9時～夕方6時 休診日 土曜日午後・日・祝・お盆・年末年始

ゆうとぴあグループでは1年間延べ2万人の施術実績

安心と安全と信頼の実績



株式会社 トライ・コーポレーション

訪問鍼灸マッサージ ゆうとぴあ

〒631-0041 奈良県奈良市学園大和町2丁目84 TEL / 0742-81-3132 FAX / 0742-81-3112 HP http://www.nihonzaitaku.com/